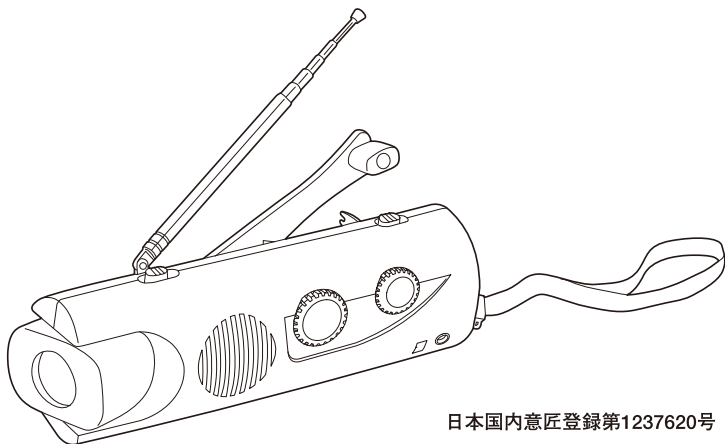


ダイナモスウィング ライトラジオ

取扱説明書



日本国内意匠登録第1237620号

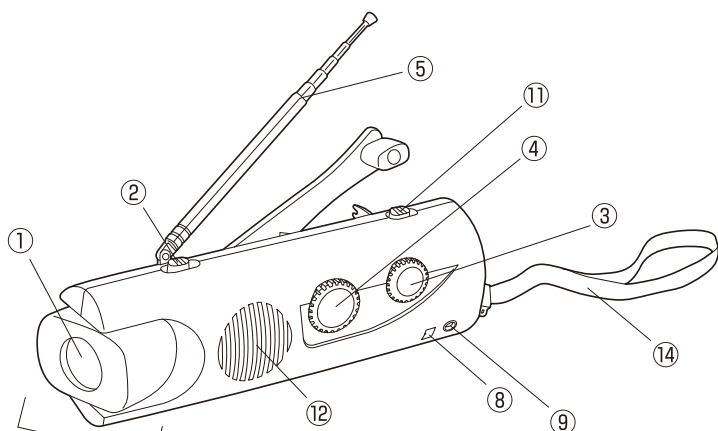
このたびは「ダイナモスウィングライトラジオ」をお買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は保証書を兼ねていますので、紛失しないよう大切に保管してください。誤った使用により生じた損害に関しましては、当社は一切責任を負いませんので、予めご了承ください。

⚠ 警告

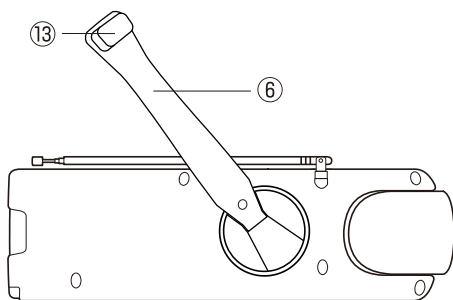
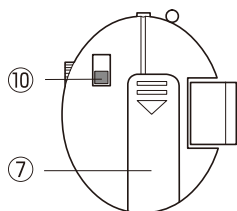
- 点灯中のLEDを直視しないでください。視力障害の原因となるおそれがあります。
- ラジオやサイレンは大きな音量で聴かないでください。聴力障害の原因となるおそれがあります。
- 小児の手の届かないところに保管してください。
- 本製品を修理、改造しないでください。発火したり異常作動するおそれがあります。
- 内部に磁石を使用していますので、磁力の影響を受ける製品の近くでは使用しないでください。
- 防水仕様ではありませんので、雨、シャワーなど水に濡れるおそれのある場所での使用は絶対におやめください。
- 乾電池は、古いものと新しいものをまぜたり、アルカリ電池とマンガン電池をまぜて使用しないでください。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から抜き取ってください。そのまま放置しますと、液漏れ、腐食、発火、故障などの原因となります。

1 各部名称

- ① LEDライト
 - ② ライト/OFF/サイレンスイッチ
 - ③ ラジオスイッチ/音量ダイヤル
 - ④ 選局ダイヤル
 - ⑤ FMアンテナ
 - ⑥ ダイナモハンドル
 - ⑦ 乾電池ケースフタ
 - ⑧ 携帯電話充電端子
 - ⑨ イヤホン端子
 - ⑩ 電源切換スイッチ
 - ⑪ FM/AM切換スイッチ
 - ⑫ スピーカー
 - ⑬ ハンドルツマミ
 - ⑭ ストラップ
- A. ライトユニット
およそ180度回転します。



A. ライトユニット

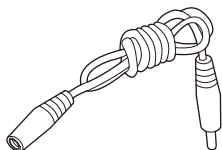


2 機能

- LEDライト(白色)
- ラジオ(AM/FM/ワイドFM)
- サイレン
- 携帯電話機のダイナモハンドル充電

3 付属品名称

- 携帯電話機充電コード
- 接続コネクタ3種類
 - ・青ラベル…docomoFOMA/Softbank3G用
 - ・オレンジラベル…au用
 - ・緑ラベル…スマートフォン用(microUSBコネクタ)
- ※表記の社名または商品名は、各社の商標・登録商標です。
- ※携帯・スマートフォンコネクタについて、電話機本体にコネクタをさしていただく場合、各色のラベル面が上で入らない時は、ラベル面を下にして差し込んでください。
- ※オレンジと青ラベルコネクタにはつまみがあります。抜く時はつまみを押しながらいけてください。
- ※(緑ラベル)コネクタをさし込む時はまっすぐに入れてください。また抜く時もまっすぐに抜いてください。
- ※緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の金属の接合部分が半分入れば接続できています。
- 取扱説明書/保証書(本書)

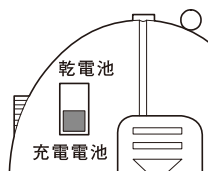


4 電 源

- ◎単4乾電池×2本(別売)… LEDライト、ラジオ(FM/AM)、サイレン
- ◎ダイナモハンドル … 内蔵ニッケル水素電池の充電、携帯電話機の充電

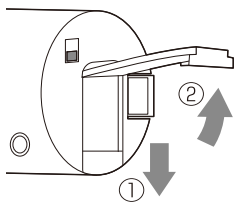
5 電源切換スイッチについて

ダイナモハンドルで充電した充電電池を使用する場合は、⑩電源切換スイッチを「充電電池」の位置に合わせてください。乾電池を使用する場合には「乾電池」の位置に合わせてください。

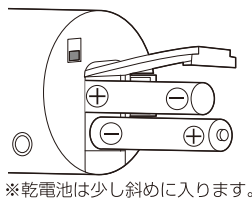


6 乾電池の入れ方

- ⑦乾電池ケースフタを①、②の順にスライドさせて開けてください。【図1】
- 単4乾電池を2本の \oplus 、 \ominus を確認し、正しく入れてください。【図2】
- ③、④の順に押し込むようにフタをしてください。【図3】

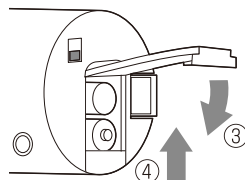


【図1】



【図2】

※乾電池は少し斜めに入ります。



【図3】

7 内蔵電池(本体)を充電するには

※ダイナモハンドルを回転させると内部の蓄電池に充電できます。

1. ⑩電源切換スイッチを「乾電池」の位置に合わせてください。③音量ダイヤルが「切」、②ライト切換スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。

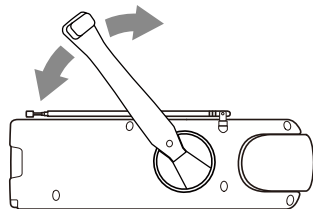
2. ⑥ダイナモハンドルを引き出し、⑬ハンドルツマミをもって回してください。ハンドルを回す向きは、左右どちらでも構いません。【図1】

※ハンドルを回すスピードは120回転程度/分のペースが適当です。

※⑥ダイナモハンドルで、市販の乾電池およびニッケル水素電池等の充電機に充電することはできません。



ハンドルを回す際に、指をはさまないように、ご注意ください。
注意 ケガをするおそれがあります。



【図1】

8 LEDライトの使い方

1. 充電電池を使用する場合は、⑩電源切換スイッチを「充電電池」の位置に合わせてください。乾電池を使用する場合には「乾電池」の位置に合わせてください。

2. ②ライト/OFF/サイレンスイッチを「ライト」の位置に合わせると①LEDライトが点灯します。

※LEDライトユニットがおおよそ180度回転いたします。お好みの方向に向けてください。

3. 消灯する場合は②ライト/OFF/サイレンスイッチを「OFF」の位置に合わせてください。

※LEDライト使用時にはラジオは使用できません。

※LEDライトの寿命はきわめて長く、通常の使用においては交換の必要がありません。



LEDライトが点灯している間は、光を直視しないでください。
禁止 視力障害の原因となるおそれがあります。

9 ラジオ(FM/AM)を使うには

- FM/ワイドFM：76～108MHzで受信可能。
- AM：540～1600kHzで受信可能。

1. 充電電池を使用する場合は、⑩電源切換スイッチを「充電電池」の位置に合わせてください。乾電池を使用する場合には「乾電池」の位置に合わせてください。
2. ③ラジオスイッチ/音量ダイヤルを時計回りに回すと「カチッ」と音がしてスイッチが入ります。適当な音量に調節してください。
3. ⑪FM/AM切換スイッチを「FM」または「AM」に合わせてください。
4. ④選局ダイヤルを回して、お聞きになりたい放送局に合わせてください。
5. スイッチを切るときは、③ラジオスイッチ/音量ダイヤルを反時計回りに回し「カチッ」と音がするまで回しきってください。

※ラジオの音量を小さくしただけでは電源が入ったままとなり、電池が消耗します。必ず「カチッ」と音になるまで戻してください。


※LEDライト使用時にはラジオは使用できません。

6. お手持ちの3.5mmプラグのイヤホンを⑨イヤホン端子に差し込むとスピーカーの音を消して、イヤホンでラジオをお楽しみになれます。

 ラジオの音量は大きな音量で聴かないでください。大きな音は聴力障害になるおそれがあります。絶対におやめください。

10 サイレンを使うには

1. 充電電池を使用する場合は、⑩電源切換スイッチを「充電電池」の位置に合わせてください。乾電池を使用する場合には「乾電池」の位置に合わせてください。
2. ②ライト/OFF/サイレンスイッチを「サイレン」に合わせてください。
3. サイレンを止める場合は②ライト/OFF/サイレンスイッチを真ん中の「OFF」にしてください。

 イヤホン装着時はサイレン音量はすべてイヤホン側に出力されます。イヤホンをつけたままサイレンを聞くと聴力障害のおそれがあります。絶対におやめください。

11 携帯電話を充電するには

- ◎携帯電話の充電は、⑥ダイナモハンドルを回して行います。
- ◎ケーブルをつなぐだけでは充電できません。
- ◎乾電池からは充電できません。

1. お手持ちの携帯電話の接続端子に合わせてコネクターをお選びください。付属品の携帯電話機充電コードのもう一方のプラグを⑧携帯電話充電端子に差し込みます。【図1】

※コネクターが表面で差し込めない場合は、裏面にして差し込んでください。表、裏、どちらからでも差し込めます。

※形状の異なるコネクターを無理に押し込んだりすると破損や故障の原因となります。絶対におやめください。

※一部の機種で使用できない場合がありますので、ご了承ください。

2. ⑩電源切換スイッチを「乾電池」の位置に合わせてください。

※乾電池が入っているかどうかは関係ありません。

3. ⑥ダイナモハンドルを引き出し、⑬ハンドルツマミをもって回してください。ハンドルを回す向きは、左右どちらでも構いません。

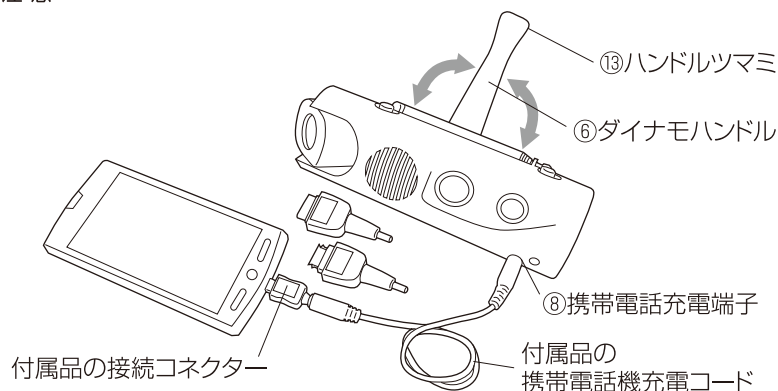
※ハンドルを回すスピードは120回転程度／分のペースが適当です。

4. ハンドルを回すと携帯電話が充電中の状態になりますので確認してください。



ハンドルを回す際に、指をはさまないように、ご注意ください。

注意 ケガをするおそれがあります。



【図1】

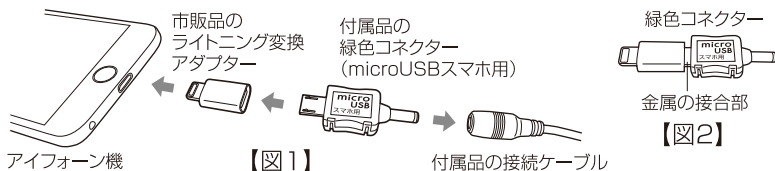
◎iPhoneを充電する方法。

※iPhone用コネクタ(30ピンタイプ及びライトニングタイプ)は付属していません。

付属品のmicroUSBコネクタからライトニングへの変換アダプタを使用する。

※市販品のライトニング変換アダプタをお買い求めいただき、付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の先に差し込み、iPhone機のライトニング充電端子に差し込んでください。【図1】

※付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の金属の接合部分が半分入れば接続できています。【図2】



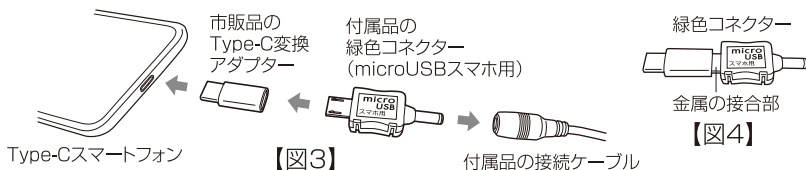
◎Type-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)を充電する方法。

※Type-Cコネクタは付属していません。

付属品のmicroUSBコネクタからType-Cへの変換アダプタを使用する。

※市販品のType-Cへの変換アダプタをお買い求めいただき、付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の先に差し込み、Type-C接続端子の携帯電話(スマートフォン)に差し込んでください。【図3】

※付属品の緑色ラベルコネクタ(microUSBスマホ用)の金属の接合部分が半分入れば接続できています。【図4】



○適合機種について

- PHSには充電できません。
- 市販されているほとんどの携帯電話に対応していますが、一部の機種で使用できない場合がありますのでご了承ください。
- スマートフォンやiPhoneを充電するとき、ハンドルを回してすぐに「このアクセサリはサポートしていません」のような表示が表れる場合があります。手巻きの場合はどうしても回転ムラにより電圧/電流が不安定となりやすく、特にスマートフォンではこのような表示がでる傾向にあります。この場合は一旦充電動作を止め、少し早めに安定したスピード(2~3回転/秒程度)で、なるべく回転ムラのないように一定のスピードでダイナモハンドルを巻きなおしてください。充電可能となります。それでも再び表示が出るようでしたら充電はお止めください。

最近のスマートフォン、iPhoneの場合は内蔵のバッテリー容量が大きくなっているため、本機のダイナモ発電では充電効率はかなり低下します。あらかじめご了承ください。



ダイナモハンドルは安定したスピードで！

禁止

携帯電話を充電される際は、ダイナモハンドルを安定したペースで回してください。携帯電話の充電ランプ(または充電中などの画面表示)が点灯しますと携帯電話に充電されています。速く回し過ぎたり、遅く回したりすると電圧/電流が不安定となり適切な充電ができなくなりますのでご注意ください。(1秒間に2~3回転が目安です)万一、携帯電話に異常が見られた場合、純正の充電器をご利用になって安定した電圧電流でしばらく充電していただきますと、通常の状態に戻ります。



メモリー消失に注意！

注意

携帯電話機は当社製品の使用に関わらず、何らかの原因によって電話帳や登録情報などのメモリーが、突然消失してしまう危険性があります。登録情報はあらかじめ別の方法で控え(バックアップ)をとっておくことを強くお勧めします。なお、本製品の使用により一時的に携帯電話が通話できなくなったり、メモリーが消失したりいたしましても、当社では責任を負いかねますので、ご了承の上お使いください。



普段の充電は純正充電器で…

禁止

本製品のご使用はあくまで、純正の充電器が使用できない場合の一時的なご利用を想定して設計されております。日常の充電には携帯電話会社純正の充電器をお使いいただきますようお願い申し上げます。

手巻きダイナモ充電による各機能の使用時間の目安

◎手巻きハンドルを120回転程度/分で回してください。

機能	360回転で	備考
LEDライト	10~20分	4分以降、徐々に光が弱くなります
ラジオ	10~20分	音量によります。
サイレン	3~6分	3分以降、徐々に音量が小さくなります。
携帯電話	60~90秒 20~30分	連続通話時間 待ち受け時間

※上記の表はあくまでも目安です。使用条件、環境などにより効率が異なりますので、ご了承ください。回転数を増やせば、さらに長時間の使用が期待できます。

※携帯電話機の充電は、携帯電話機の電池残量により効率が異なります。残量がゼロの場合、100~200回転ほどしてからでないと充電が始まらない場合がありますので予めご了承ください。(充電が開始されるとハンドルが少し重く感じます。)

※スマートフォン、iPhoneでは内部電池の容量を示す%が表示される場合がありますが、お使いの機種や設定状況により充電効率は大きく異なります。

製品保管時のご注意

本体内蔵の充電池は特性上、自然放電を起こします。放電した状態が続きますと寿命が短くなるおそれがありますので、年に4、5回程度ハンドル充電による充電を行うようにしてください。